

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公開番号】特開2017-119013(P2017-119013A)

【公開日】平成29年7月6日(2017.7.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-025

【出願番号】特願2015-257408(P2015-257408)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 5 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 6 G

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月27日(2018.12.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者が視認可能な遊技領域と、

該遊技領域より下側に設けられ、遊技者によって遊技に関する操作が行われる操作手段と、

遊技に使用される遊技媒体を貯留する貯留手段と、

前記遊技者の所持品の少なくとも下側を支持可能な所持品支持手段と、

該所持品支持手段に前記遊技者の所持品が支持された状態において遊技者による特定動作が実行された場合に、所定の動作対応処理を実行する動作対応実行手段とを有することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記所持品支持手段における前記所持品の有無を検出可能な所持品検出手段と、

前記特定動作として、遊技者が遊技機から離れようとする特定動作を検出する動作検出手段とを有し、

前記動作対応実行手段は、前記動作対応処理として、遊技者に対して所定の音声を出力することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記所持品支持手段における前記所持品の有無を検出可能な所持品検出手段と、

前記特定動作として、所定の離席前動作を検出する動作検出手段と、

遊技者の顔を検出する顔検出手段とを有し、

前記動作対応実行手段は、前記動作検出手段によって前記離席前動作を検出した場合に、前記動作対応処理として、前記離席前動作を行ったときに検出された遊技者の顔情報を記憶し、前記所持品が取れ難い所持品留保状態に遷移させることを特徴とする請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

前記所持品支持手段における前記所持品の有無を検出可能な所持品検出手段と、

前記特定動作として、遊技者が前記所持品を取ろうとする特定動作を検出動作検出手段とを有し、

前記動作対応実行手段は、前記動作対応処理として、遊技者が前記所持品を取りやすくなるようにする取得容易化処理を実行することを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の遊技機。